

1. 施策の概要

施策シート【18_01】

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、総務部、保健所、環境部、土木部

施策名称		枚方市駅周辺の再整備			
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち			
	施策目標等	18.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち			
めざす姿（主観的満足度）		枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地である			
概要		利便性が高く、魅力あふれる中心市街地の形成に向けて、商業、文化芸術、居住施設をはじめ、緑化等による景観など、交通結節点におけるさまざまな機能を充実できるよう、枚方市駅周辺の再整備を進める。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度			R8年度
	R9年度				

2. 市民満足度、取り組み実績および施策指標の分析

市民満足度の分析

【満足度44.4%】

- ・年代別では、19歳以下が最も高く、69.2%である。最も低いのは、70歳台で37.6%であった。
- ・昨年度と比較すると全体では、14.8ポイント減少したものの、熟年世代（45～64歳）では9.9ポイントの減少にとどまっている。

取り組み実績および施策指標の分析

【取り組み実績】

- ・「3. 外周道路などの整備」、「5. 新庁舎整備の検討」、「6. 公民連携した市駅周辺の空間づくり」において一部未達成であるものの、施策の進捗としては、概ね達成できている。

【施策指標】

- ・「新庁舎でめざす体制や行政サービスを実現可能とするオフィス環境の整備」については、目標を達成している。

3. 具体的な取り組みの進捗と施策指標の実績

施策シート【18_01】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、総務部、保健所、環境部、土木部

施策名称	枚方市駅周辺の再整備
------	------------

1. 枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
他の街区に先駆け、「枚方市駅周辺再整備ビジョン」にさだめるまちなか交流拠点及び広域駅前広場の形成を図るため、行政サービス再編や駅前広場、区画道路等の公共施設及び多様な都市機能と都市居住が集積する建築物の一体的な整備など、事業の実現に向けた技術的・財源的支援を実施。	・③街区の建築工事完了 ・市駅前行政サービス再編事業の完了（新たな市民窓口や市駅前図書館等の開設）	・北口駅前広場改良完了 ・本工事を以て、まちなか交流拠点・広域駅前拠点（北口駅前広場等）の形成が完了	—	—	市駅周辺まち活性化部
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業を推進し、ステーションヒル枚方などの複合施設や北口駅前広場などの公共施設の整備が完了したことで、新たなまちの拠点が形成できた。	・5月に③街区の建築工事（ステーションヒル枚方等）を完了した。 ・9月に市駅前行政サービスフロア（新たな市民窓口や市駅前図書館等）を開設した。	・北口駅前広場の改良工事完了 ・本工事を以て枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業のすべての工事が完了			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

※関連指標なし

施策名称	枚方市駅周辺の再整備
------	------------

2. 枚方市駅周辺再整備ビジョンの推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
「枚方市駅周辺再整備ビジョン」に基づき、本市の中心市街地として魅力あふれる賑わいのあるまちの実現に向けた連鎖型まちづくりの具体化を図るため、各街区における取り組みを推進。併せて、まちの魅力や価値の向上を持続的に育むためにエリアマネジメントを促進。なお、取り組みに関する検討内容や将来像については、HPやSNS等を活用し、広く市民に対して発信していく。	・④⑤街区の土地区画整理事業の推進 ・みどりの大空間等の整備方針の検討及びまちづくりの推進 ・新庁舎整備基本計画策定に向けた庁舎機能等の検討 ・②街区地権者勉強会など	・④⑤街区の土地区画整理事業の推進 ・みどりの大空間等の整備方針の検討及びまちづくりの推進 ・新庁舎整備基本計画の策定 ・②街区地権者勉強会など	・④⑤街区の土地区画整理事業の推進 ・みどりの大空間等の整備方針の検討及びまちづくりの推進 ・新庁舎整備に伴う事業者募集 ・②街区準備組合活動サポートなど	継続	市駅周辺まち活性化部
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
各街区に関する取り組みを、関係者や関係機関等と協議しながら検討を進め、具体化を図る。	・④⑤街区の土地区画整理事業やみどりの大空間、エリアマネジメント導入等の検討、②街区地権者によるまちづくり協議会への支援を実施した。 ・庁舎機能について、他市視察や市民意見聴取などを行った。	・④街区と⑤街区の土地区画整理事業の検討や関係者協議等を実施した。 ・みどりの大空間等の検討を行った。 ・庁舎機能等について、有識者からの助言などをいただきながら検討を進めた。 ・②街区地権者への技術的支援及び駅前広場整備や再開発事業の具体化に向けた検討を実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

※関連指標なし

施策シート【18_01】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、総務部、保健所、環境部、土木部

施策名称	枚方市駅周辺の再整備
------	------------

3. 外周道路などの整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
枚方市駅周辺再整備ビジョンにもとづき外周道路などの整備を実施。	財政状況等を勘案し、他事業との調整・連携を図りながら計画的に整備工事を推進	継続	継続	継続	道路河川整備課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
道路用地取得に向け地権者と協議し交渉を進めるとともに、道路用地取得後に道路整備工事を進めていく。	用地取得に向け協議継続	用地取得に向け協議継続			
年度ごとの達成状況	△	△			

※関連指標なし

施策名称	枚方市駅周辺の再整備
------	------------

4. 行政サービス充実のためのオフィス環境整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
新庁舎でめざす体制や行政サービスを実現可能とするオフィス環境の整備を実施。	・執務スペース、書庫、倉庫などの整理 ・新庁舎における新たなワークスタイルについての調査研究 ・フリーアドレス（ユニバーサルレイアウト）、クラウドPBXなどの検証・順次導入 ・新庁舎における総合管理委託に向けた業務の洗い出し等の調査・検討 ・公用車の整理	継続	継続	継続	総務管理課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
・現庁舎等の執務室等の使用状況について課題を整理し、新庁舎整備に向け、市民にとって便利で、職員が働きやすい執務環境のあり方について検討する必要がある。 ・ユニバーサルレイアウト及びクラウドPBXの導入効果について、引き続き検証を行いながら、今後、現庁舎において、窓口職場や技術職場などへの計画的な導入を進める。 ・新庁舎における総合管理委託に向けた業務の洗い出し等の調査・検討を進める必要がある。 ・新庁舎整備に伴い先行して除却予定の分館、第2分館、第3分館、車両事務所などの代替施設の課題を整理するとともに、公用車の最適化や一元管理に向けた検討が必要である。	・新庁舎整備機能検討等支援業務委託による現庁舎執務環境等調査において、執務スペースや会議室の使用状況、文書・物品の書庫や倉庫等の使用状況について調査した。 ・市駅前行政サービスフロアにおいて、多様な働き方に対応できる什器を導入し、ユニバーサルレイアウトを採用した。また、庁内電話について、公用スマートフォンを利用できるクラウドPBXを導入した。	・新庁舎整備機能検討等支援業務委託による職員への啓発等支援において、職員向けに「新庁舎に向けた新しい働き方（ユニバーサルレイアウト等）に関するワークショップ」を開催し、職員が新しい働き方や執務環境についての見識を深め、現状の庁舎の改善点について検討する取り組みを実施した。 ・枚方市保健所の移転に伴い、保健所各課でユニバーサルレイアウトを導入した。 ・まるっとこどもセンターのレイアウト変更に伴い、ユニバーサルレイアウトの執務スペースを追加した。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【18_01】－ 施策指標

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、総務部、保健所、環境部、土木部

施策名称	枚方市駅周辺の再整備
------	------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
新庁舎でめざす体制や行政サービスを実現可能とするオフィス環境の整備	組織変更や人員の増減にフレキシブルに対応しやすいユニバーサルレイアウトを採用したのべ職員数	100	250	390	420	人	総務管理課	4. 行政サービス充実のためのオフィス環境整備
各年度の実績		184	359			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和6年9月にオープンしたステーションヒル枚方内行政サービスフロア（職員数160人）においてユニバーサルレイアウトを導入し、目標値を達成した（令和5年度導入24人）。今後、現庁舎において、窓口職場や技術職場などへの計画的な導入を検討する。								
【施策指標の分析 R7】 窓口職場の市民課に加えて移転した保険所及びまるっとこどもセンター増員分においてユニバーサルレイアウトを導入し、目標値を達成した。 引き続き、窓口職場や技術職場などへの計画的な導入を検討する。								

施策名称	枚方市駅周辺の再整備
------	------------

5. 新庁舎整備の検討

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
庁内のワーキングチームにより、先進事例研究や市民の意見等も踏まえて、新庁舎基本計画を策定し、計画に基づき整備する。基本計画では、窓口機能や環境機能、付帯機能を含む庁舎機能などの整理を行う。なお、庁舎に関する検討内容や将来像については、HPやSNS等を活用し、広く市民に対して発信していく。	新庁舎整備基本計画策定に向けて、庁舎機能などについて、市民意見聴取や他市視察などを実施	新庁舎整備基本計画の策定	新庁舎整備に伴う事業者募集	新庁舎整備に伴う設計など	市駅周辺まち活性化部
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
庁舎位置が決定していないため、基本計画策定に向けた配置計画や事業手法の検討などに遅れが生じた。引き続き、早期の基本計画策定に努め、庁舎整備に取り組む。	・庁舎機能などについて、市民アンケートや障害者・高齢者等への個別意見聴取を行った。 ・庁内ワーキングチームと連携し、他市視察等を行った。	・庁舎機能等について、有識者からの助言などをいただきながら検討を進めた。			
年度ごとの達成状況	◎	△			

※関連指標なし

施策名称	枚方市駅周辺の再整備
------	------------

6. 公民連携した市駅周辺の空間づくり

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市民や有識者などからの意見聴取やURとの意見交換を行いながら、民間提案を募るなど、公民連携した空間づくりに向けて取り組む。	・P-PFIなど、公民連携手法の検討 ・URと連携し、民間事業者からの提案 ・みどりの大空間等の整備方針の検討及びまちづくりの推進	継続	・市民や有識者への意見聴取、事業者ヒアリングの実施 ・効果的な民間提案に向け、URと意見交換 ・みどりの大空間等を含めたまちづくり計画の検討	・まちづくり計画の実現に向けた効果的な公民連携手法の検討 ・社会情勢の変化等、必要に応じて事業者ヒアリングの実施	市駅周辺まち活性化部
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
駅周辺の最適なまちづくりに向け、市民・市場二ーズを踏まえた土地利用案の検討が必要。効率的で質の高いまちづくりの検討に向け、有識者やURと意見交換を行い、専門的な知見等を取り入れながら検討を進める。	みどりの大空間等の整備方針等の検討を実施した。	④⑤街区のまちづくりについてURとの意見交換や、④街区の民間活力導入の可能性について複数事業者へヒアリングを行った。			
年度ごとの達成状況	○	△			

※関連指標なし

4. 取組満足度と関心・期待度・ニーズの4象限マトリクス分析

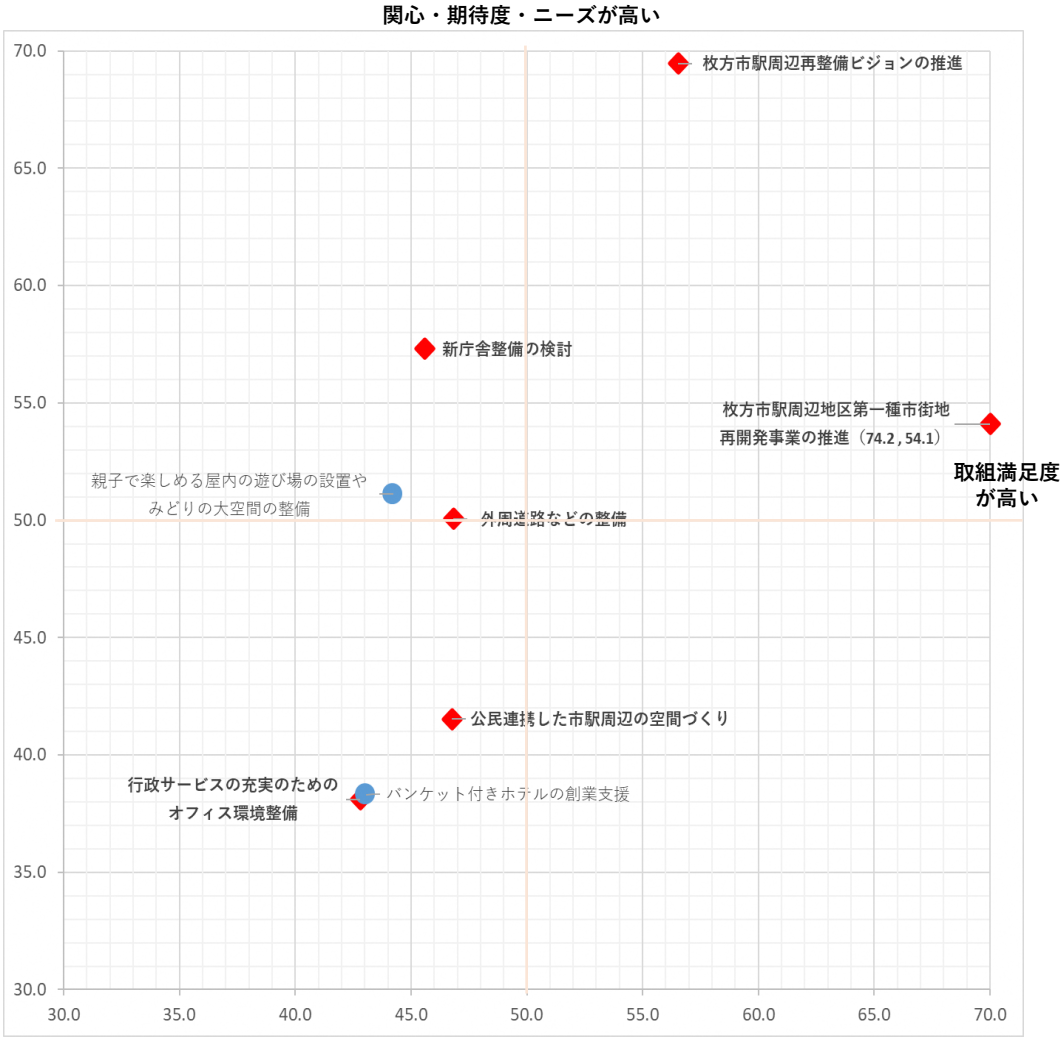
枚方市駅周辺の賑わい・魅力
18_01 枚方市駅周辺の再整備

施策満足度		
満足	不満足	どちらとも いえない わからない
44.4%	23.3%	32.3%
「決め手となった取り組みはない」と 回答した人		
15.2%		

※回答数／全体数1,762

※満足の定義は、「感じている」「やや感じている」を選択した人で、
不満足の定義は、「あまり感じていない」「感じていない」を選択した人

※各施策における取組満足度や関心・期待・ニーズを分析するものであり、異なる施策間での比較を行うものではありません。



目指すべき姿
(施策満足度)『枚方市駅周辺の賑わい・魅力』に紐づく全取り組み⇒青丸●

上記のうち施策シート『18_01 枚方市駅周辺の再整備』に紐づく取り組み⇒赤ダイヤ◆

施策の分析

- ・「2. 枚方市駅周辺再整備ビジョンの推進」の関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに高い。
- ・「1. 枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業の推進」の関心・期待度・ニーズは平均的であるが、取組満足度は高い。
- ・「3. 外周道路などの整備」の関心・期待度・ニーズと取組満足度は平均的である。
- ・「5. 新庁舎整備の検討」の関心・期待度・ニーズは高いが、取組満足度は平均的である。
- ・「6. 公民連携した市駅周辺の空間づくり」の関心・期待度・ニーズは低いが、取組満足度は平均的である。
- ・「4. 行政サービス充実のためのオフィス環境整備」の関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに低い。

5. 評価を踏まえた今後の方向性

今後の方向性

- ・枚方市駅南側のまちづくりについては、市民や市議会、有識者からの意見を伺うとともに、事業者ヒアリングを行い、関係機関と連携しながら中心市街地の賑わい創出や防災性の向上等につなげていく。
- ・新庁舎については、これまでの市民からの意見などを踏まえ、庁舎機能の具体的な検討を進め、新庁舎整備基本計画の策定に向けて取り組む。
- ・新庁舎整備を見据え、市民にとって便利でわかりやすく、心地よく過ごせる空間づくりや、職員の新しい働き方を実現する執務環境の整備など、新庁舎整備に向けて必要な機能を引き続き検討する。
- ・事業の目的や進捗などについて、効果的な手法で市民へPRを行っていく。

1. 施策の概要

施策シート【18_02】

市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部、子ども未来部

施策名称		枚方市駅周辺の賑わいづくりの創出			
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち			
	施策目標等	18.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち			
めざす姿（主観的満足度）		枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地である			
概要		枚方市駅周辺が、人々が集い交流し、さまざまな活動が活発に展開される拠点となるよう、賑わいづくりを創出する。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度				
	1. 親子で楽しめる屋内の遊び場の設置やみどりの大空間の整備				
	2. バンケット付きホテルの創業支援				
	R7年度				
	2. バンケット付きホテルの創業支援				
	○補助受付開始				
	R8年度				
	R9年度				

2. 市民満足度、取り組み実績および施策指標の分析

市民満足度の分析

【満足度44.4%】

- ・年代別では、19歳以下が最も高く、69.2%である。最も低いのは、70歳台で37.6%であった。
- ・昨年度と比較すると全体では、14.8ポイント減少したものの、熟年世代（45～64歳）では9.9ポイントの減少にとどまっている。

取り組み実績および施策指標の分析

【取り組み実績】

- ・施策の進捗としては、「1. 親子で楽しめる屋内の遊び場の設置やみどりの大空間の整備」において一部未達成であるものの、概ね達成できている。

【施策指標】

- ・「ホテルとの連携実績数」について、未達成である。

3. 具体的な取り組みの進捗と施策指標の実績

施策シート【18_02】－ 具体的な取り組み

市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部、子ども未来部

施策名称	枚方市駅周辺の賑わいづくりの創出
------	------------------

1. 親子で楽しめる屋内の遊び場の設置やみどりの大空間の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
(1)④街区の民間活力導入エリアや新庁舎の整備に向けて、親子で楽しめる屋内遊び場など、市民ニーズやURとの意見交換等を踏まえた募集要項の作成 (2)みどりの大空間の具体化に際し、市民や有識者などからの意見聴取などを行いながら実現に向けた取り組み。	市民ニーズ及びURとの意見交換等を踏まえた募集要項に記載する誘致施設や機能の検討・提案	継続	継続	・市民・市場ニーズを踏まえた募集要項構成案の整理	市駅周辺まち活性化部
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
整備時期を見据えたニーズの把握や意見聴取が必要。庁舎位置や事業手法の検討と合わせ、可変性を踏まえ柔軟かつ効率的に取り組む。	④⑤街区の土地区画整理事業の検討を実施した。	民活導入エリアの検討に向けて、URとの意見交換や事業者ヒアリングなどを実施した。			
年度ごとの達成状況	△	△			

※関連指標なし

施策シート【18_02】－ 具体的な取り組み

市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部、子ども未来部

施策名称	枚方市駅周辺の賑わいづくりの創出
------	------------------

2. バンケット付きホテルの創業支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
新たな都市機能として長期的に安定した事業継続が可能となるよう、原則5年間、固定資産税および都市計画税等の相当額を支援。	固定資産税および都市計画税等の相当額を支援する補助制度の構築	補助受付開始	継続	継続	観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
令和7年度に制度の構築が完了したため、令和8年度以降においては、制度に基づき支援を実施する。	制度構築に向け協議を行った。	制度構築を行った（協議・検討、予算要求、補助金交付要綱制定、事業内容協議・認定）。			
年度ごとの達成状況	○	○			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
ホテルとの連携実績数	ホテル宿泊者の市内店舗利用者数	2,072	3,551	3,729	3,907	人	観光交流課	2. バンケット付きホテルの創業支援
各年度の実績		300	350			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 ホテル宿泊者に市駅周辺飲食店マップを配布した。								
【施策指標の分析 R7】 ホテル宿泊者に市内店舗等の魅力を発信する情報誌を配布した。								

4. 取組満足度と関心・期待度・ニーズの4象限マトリクス分析

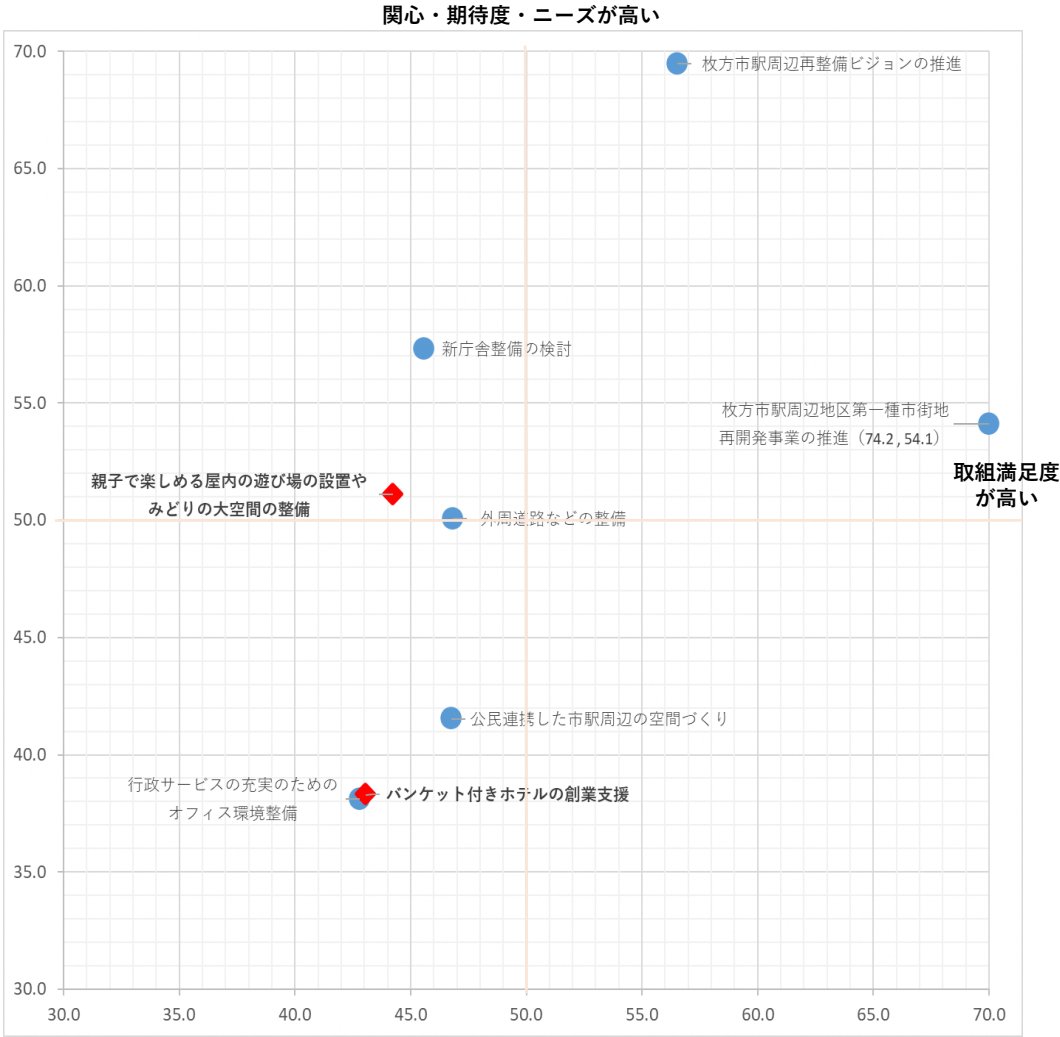
枚方市駅周辺の賑わい・魅力
18_02 枚方市駅周辺の賑わいつ
くりの創出

施策満足度		
満足	不満足	どちらとも いえない わからない
44.4%	23.3%	32.3%
「決め手となった取り組みはない」と 回答した人		
15.2%		

※回答数／全体数1,762

※満足の定義は、「感じている」「やや感
じている」を選択した人で、
不満足の定義は、「あまり感じていな
い」「感じていない」を選択した人

※各施策における取組満足度や関心・期待・
ニーズを分析するものであり、異なる施策
間での比較を行うものではありません。



目指すべき姿
(施策満足
度)『枚方市
駅周辺の賑わ
い・魅力』に
紐づく全取り
組み⇒青丸●

上記のうち施
策シート
『18_02 枚
方市駅周辺の
賑わいつくり
の創出』に紐
づく取り組み
⇒赤ダイヤ◆

施策の分析

- ・「1. 親子で楽しめる屋内の遊び場の設置やみどりの大空間の整備」の関心・期待度・ニーズは平均的で、取組満足度は低い。
- ・「2. バンケット付きホテルの創業支援」の関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに低い。

5. 評価を踏まえた今後の方向性

今後の方向性

- ・施策全体の方向性として、関係機関と連携しながらまちの魅力を高めるため、みどりの大空間や導入する都市機能、新たな道路の検討も含め、にぎわいのあるまちの具体化に取り組む。
- ・「1. 親子で楽しめる屋内の遊び場の設置やみどりの大空間の整備」について、整備時期を見据えたニーズの把握等により、効率的に取り組むとともに満足度向上を図っていく。

1. 施策の概要

施策シート【19_01】

観光にぎわい部

施策名称		歴史文化遺産の活用と情報発信の充実						
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち						
	施策目標等	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち						
めざす姿（主観的満足度）		市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われている						
概要		歴史文化遺産の活用と情報発信の充実を図り、まちへの愛着を育む。						
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度		R8年度		R9年度		
	1. 百済寺跡の築地塀再現や楠葉台場跡へのシンボル設置 ○百済寺跡の築地塀セレモニー、公園再整備工事をもって短期計画完了 2. 郷土史に対する理解の促進 3. 文化財の普及啓発と活用				1. 百済寺跡の築地塀再現や楠葉台場跡へのシンボル設置 ○楠葉台場跡へのモニュメント設置		1. 百済寺跡の築地塀再現や楠葉台場跡へのシンボル設置 ○文化財保存活用地域計画案の作成	

2. 市民満足度、取り組み実績および施策指標の分析

市民満足度の分析

【満足度19.1%】

- ・年代別では、20歳台が最も高く、30.4%である。最も低いのは、70歳台で15.0%であった。
- ・昨年度と比較すると全体では、11.2ポイント減少したものの、子育て世代（25～44歳）で、4.5ポイントの減少にとどまった。

取り組み実績および施策指標の分析

【取り組み実績】

- ・施策としては、概ね達成しており、目標達成に向けて計画通り進捗している。

【施策指標】

- ・「レファレンス等利用件数」、「文化財活用事業満足度」、「枚方宿鍵屋資料館の年間来館者数」については目標を達成している。
- ・「特別史跡百済寺跡と楠葉台場跡が内外に誇れる観光資源であると思う市民の割合」、「旧田中家鋳物民俗資料館の年間来館者数」及び「大型観光バスで特別史跡百済寺跡に見学に来た団体観光客数」が目標未達成である。

3. 具体的な取り組みの進捗と施策指標の実績

施策シート【19_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	歴史文化遺産の活用と情報発信の充実
------	-------------------

1. 百済寺跡の築地塀再現や楠葉台場跡へのシンボル設置

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①百済寺跡の築地塀再現 ②楠葉台場先行整備 ③文化財保存活用地域計画の策定などにより市内文化財を普及啓発	①築地塀完成セレモニー、公園再整備工事をもって短期計画の完了 ②国・大阪府との協議	①アプローチ及び展示場整備の検討、大阪府との協議 ②整備に向けた方向性の検討、検討体制の整備など	①継続 ②楠葉台場跡へのモニュメント設置 ③審議会開催、地域の文化財の総合的な把握	①継続 ②楠葉台場跡の啓発 ③地域計画案の作成	文化財課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
①今後アプローチゾーン等の整備の方向性について検討する。 ②令和8年度中のモニュメントの設置に向け、手続きを進める。 ③文化財保存活用地域計画の策定に向けて取り組む。	①4月に築地塀完成セレモニーを実施した。同じく4月より第8期整備工事を実施し、舗装や築地塀周辺の排水設備、管理用柵、擁壁や駐車場工事、防犯カメラの設置、未設の説明板の設置を実施し3月末で工事が完了した。 ②11月から順次楠葉台場における整備について、大阪府と協議を開始した。	①整備報告書を作成し刊行した。 ②モニュメントの設置について、文化庁及び大阪府と協議し了承を得た。大砲の種類についても調査し、専門家にも助言頂き方向性を決めた。 また、令和8年度の設置に向けて、予算の確保を行った。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【19_01】－ 施策指標

観光にぎわい部

施策名称	歴史文化遺産の活用と情報発信の充実
------	-------------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
特別史跡百済寺跡と楠葉台場跡が内外に誇れる観光資源であると思う市民の割合	特別史跡百済寺跡と楠葉台場跡が内外に誇れる観光資源であると思う市民の割合	50	52	54	56	%	文化財課	1. 百済寺跡の築地塀再現や楠葉台場跡へのシンボル設置
各年度の実績		43.4	50.9			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 特別史跡百済寺跡は57.5%だが、楠葉台場跡は29.3%と低かったため、全体の割合が目標値を下回った。								
【施策指標の分析 R7】 特別史跡百済寺跡は66.5%だが、楠葉台場跡は34.2%と低かったため、全体の割合が目標値を下回ったが、前年よりは認知度が向上している。								
楠葉台場の訪問者数	楠葉台場跡の訪問者数（土曜日の11時～12時の1時間あたり）	-	-	-	4,440	人	文化財課	1. 百済寺跡の築地塀再現や楠葉台場跡へのシンボル設置
各年度の実績		-	-	-		人	備考	
【施策指標の分析 R6】 —								
【施策指標の分析 R7】 —								

施策シート【19_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	歴史文化遺産の活用と情報発信の充実
------	-------------------

2. 郷土史に対する理解の促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市民の郷土史に対する理解を深め、市民文化の向上を図ることを目的に、枚方市史年報をはじめ市史に関する刊行物の編集、歴史資料の収集・整理・保存を実施。	・市史に関する刊行物の編集 ・歴史資料の収集・整理・保存 ・希望者へのレファレンス	継続	継続	継続	文化財課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
枚方市史年報などを刊行する。歴史資料の収集・整理・保存及び希望者へのレファレンスを随時行う。	令和6年3月に刊行した『枚方市史年報第26号』、『新版楽しく学ぶ枚方の歴史』の有償頒布を4月に開始した。また、『新版楽しく学ぶ枚方の歴史』については「ひらかた電子図書館」で5月に公開を開始した。『枚方市史年報第27号』、『増補版禁野火薬庫爆発遭難手記』を3月に刊行した。歴史資料の収集・整理・保存及び希望者へのレファレンスを随時行った。(318件)	令和7年3月に刊行した『枚方市史年報第27号』、『増補版禁野火薬庫爆発遭難手記』の有償頒布を4月に開始した。また、『新版楽しく学ぶ枚方の歴史』（令和6年3月）を増刷した。『枚方市史年報第28号』を3月に刊行した。歴史資料の収集・整理・保存及び希望者へのレファレンスを随時行った。(296件)			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【19_01】－ 施策指標

観光にぎわい部

施策名称		歴史文化遺産の活用と情報発信の充実						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
レファレンス等利用件数	枚方の歴史や史料に関する質問・照会のほか資料の閲覧・複写及び貸出等の利用も含めたレファレンス等の件数	250	260	270	280	件	文化財課	2. 郷土史に対する理解の促進
各年度の実績		318	296			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 『新版楽しく学ぶ枚方の歴史』を発売したことにより、レファレンス件数も増加した。								
【施策指標の分析 R7】 『新版楽しく学ぶ枚方の歴史』刊行記念講座を実施したことにより、レファレンス件数も順調に推移した。								

施策名称	歴史文化遺産の活用と情報発信の充実
------	-------------------

3. 文化財の普及啓発と活用

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
(1) それぞれの施設などの説明板を多言語化することで、国内外に向けた、啓発普及及び観光資源としての活用を目指す。 ①旧田中家鋳物民俗資料館 ②枚方宿鍵屋資料館 ③特別史跡百済寺跡 (2) 無形民俗文化財の登録 市内の祭りやだんじり等の民俗文化財調査を進めることで、市内初の無形民俗文化財の登録を目指します。	(1) 説明板の多言語化や市ホームページによる特設サイトの作成、SNSなど、国内外を意識した啓発普及に取り組む ①旧田中家鋳物民俗資料館 市内工場や市内農家と連携したツーリズムを実施。 ②枚方宿鍵屋資料館 施設を活用したにぎわい創出事業の提案を含め、指定管理者を選定 ③特別史跡百済寺跡 AR映像の活用や発掘調査の際に出土した遺物の展示を実施。 (2) 無形民俗文化財を登録	①、③は継続 ②は指定管理者による、にぎわい創出事業の拡充	継続	継続	文化財課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
(1) ①市内工場や市内農家と連携したツーリズムを実施する。 ②鍵屋資料館の効率的かつ効果的な施設の管理運営と賑わい創出事業の拡充 ③映像を活用し普及啓発、観光資源の活用を行っていく。 (2) 市内の祭り等の民俗文化財の調査や普及啓発を進める。	(1) ①市内企業と旧田中家鋳物民俗資料館が連携して、工場見学日帰りツーリズムを3回実施した。市内農家と連携して「かまどでごはん」を1回実施した。②大阪府と連携し、万博前の啓発事業を実施した。また、施設を活用したにぎわい創出事業の提案を得て、指定管理者を選定した。③大阪工業大学が製作した百済寺跡AR映像を枚方まつりで試験公開し、3月末から本格公開した。 (2) 春日神社(津田)の秋祭りの調査を実施し、無形の民俗文化財としては初めて枚方市登録文化財に登録した。	(1) ①市内企業と旧田中家鋳物民俗資料館が連携して、工場見学日帰りツーリズムを3回実施した。市内農家と連携して「かまどでごはん」を1回実施した。②指定管理者による資料館運営を実施した。大阪・関西万博の関連イベントとして、大阪府文化資源魅力向上事業を実施したほか、インバウンド対応として、展示の多言語解説音声ガイドの整備を行った。また、歴史講座「東海道57次と枚方宿」(講師：志田威氏)を開催した。③令和7年度末からの本格公開に向け、大阪工業大学と連携し、江戸時代の鍵屋浦のAR映像を制作した。 (2) 令和7年3月に市登録文化財に登録した春日神社(津田)の秋祭りについて、境内に説明板を設置したほか、枚方市内の神社で行われている祭り(民俗文化財)13件および枚方市域の交野節の保護団体2団体の活動状況について、市ホームページ上に掲載し、市民への周知を図った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【19_01】－ 施策指標

観光にぎわい部

施策名称	歴史文化遺産の活用と情報発信の充実
------	-------------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
文化財活用事業満足度	講習受講者アンケートで「満足」と回答したものの割合 【算出式：受講者アンケートにて「満足」と回答した人数／アンケート回答者数】	80	85	90	95	%	文化財課	3. 文化財の普及啓発と活用
各年度の実績		89.3	87.9			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 体験工房はほぼ100%が満足との結果だが、古文書講座は85.9%、歴史講座は82%程度となっている。								
【施策指標の分析 R7】 体験工房はほぼ100%が満足との結果だが、古文書講座は81.1%、歴史講座は82%程度となっている。								
旧田中家鋳物民俗資料館の年間来館者数	旧田中家鋳物民俗資料館の年間来館者数	6,300	6,350	6,400	6,450	人	文化財課	3. 文化財の普及啓発と活用
各年度の実績		5,459	4,178			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 観光バスの料金高騰や学校見学を鍵屋など他の市施設へ変更したなどの理由で、団体の来館者数が減少している。								
【施策指標の分析 R7】 観光バスの料金高騰や学校見学を鍵屋など他の市施設へ変更したなどの理由で、団体の来館者数が減少している。								

施策シート【19_01】ー 施策指標

観光にぎわい部

施策名称	歴史文化遺産の活用と情報発信の充実
------	-------------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
大型観光バスで特別史跡百済寺跡に見学に来た団体観光客数	大型観光バスで特別史跡百済寺跡に見学に来た団体観光客数	750	200	220	240	人	文化財課	3. 文化財の普及啓発と活用
各年度の実績		267	45			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 実績件数では令和5年度は9団体（699人）から、令和6年度は10団体と団体数は増えているが、1団体の平均人数が77.7人から26.7人と大幅に減少した。 減少要因は修学旅行生等の大口利用がなかったため。								
【施策指標の分析 R7】 減少要因は、万博の開催でバスの確保が難しかった事と韓国からの修学旅行生等の大口利用がすべて無断が当日のキャンセルとなったため。								
枚方宿鍵屋資料館の年間来館者数	枚方宿鍵屋資料館の年間来館者数	8,800	11,600	11,700	11,800	人	文化財課	3. 文化財の普及啓発と活用
各年度の実績		11,085	13,518			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 新型コロナウイルス感染症の収束によりイベント数を増やしたことに加え、NHKの番組「プラタモリ」において取材を受けたことにより来館者数が増加したと想定される。								
【施策指標の分析 R7】 集客効果のあるイベントの企画およびプロモーションを実施したことに加え、大阪・関西万博への出展、万博関連事業の実施、メディアからの取材の受け入れをしたことが来館者数増加に繋がったと考えられる。また、昨年度より多くの小学校に見学先として選ばれたことも来館者増加に繋がった。								

4. 取組満足度と関心・期待度・ニーズの4象限マトリクス分析

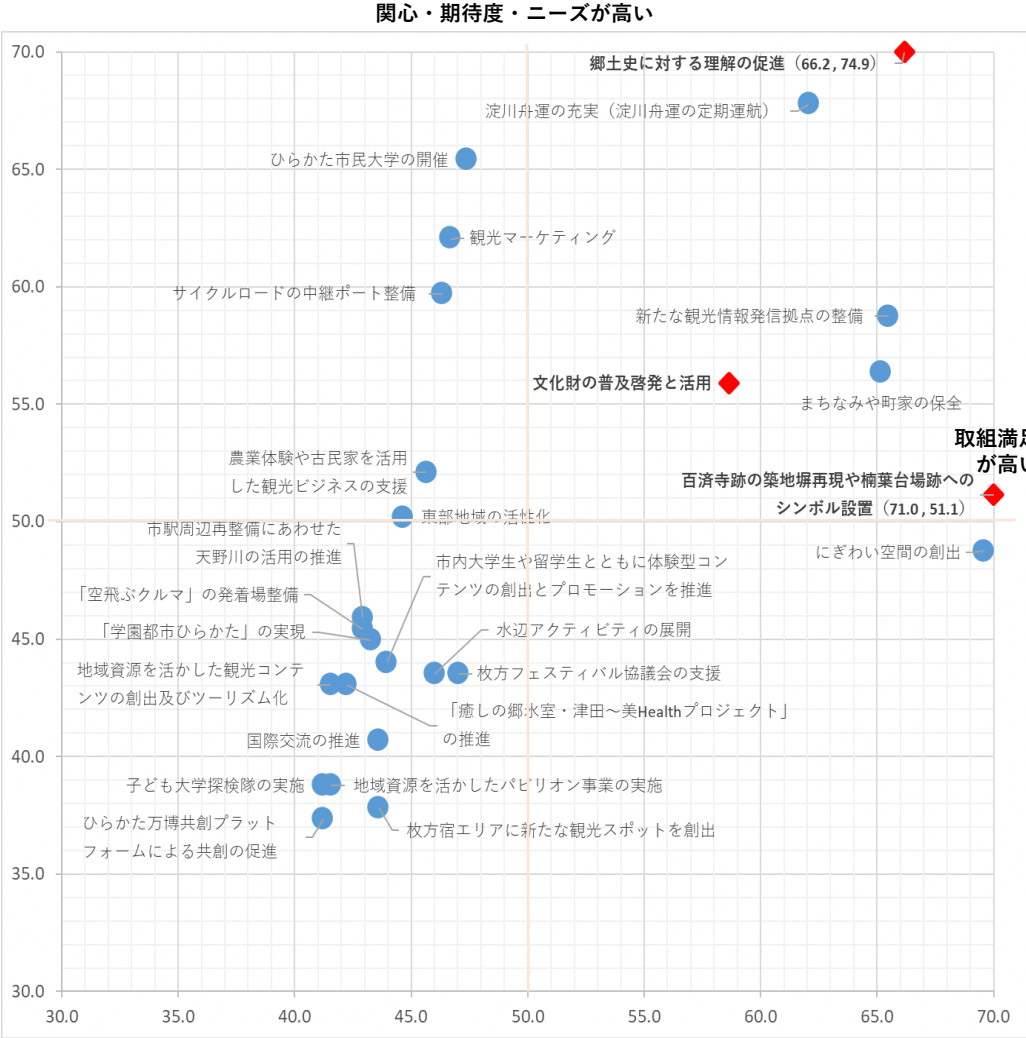
観光資源が生かされている
19_01 歴史文化遺産の活用と情報発信の充実

施策満足度		
満足	不満足	どちらとも いえない わからない
19.1%	26.6%	54.3%
「決め手となった取り組みはない」と回答した人		
32.1%		

※回答数／全体数1,762

※満足の定義は、「感じている」「やや感じている」を選択した人で、
不満足の定義は、「あまり感じていない」「感じていない」を選択した人

※各施策における取組満足度や関心・期待・ニーズを分析するものであり、異なる施策間での比較を行うものではありません。



目指すべき姿
(施策満足度)『観光資源が生かされている』に紐づく全取り組み⇒青丸●

上記のうち施策シート『19_01 歴史文化遺産の活用と情報発信の充実』に紐づく取り組み⇒赤ダイヤ◆

施策の分析

- ・「2. 郷土史に対する理解の促進」、「3. 文化財の普及啓発と活用」の関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに高い。
- ・「1. 百済寺跡の築地塀再現や楠葉台場跡へのシンボル設置」は関心・期待度・ニーズは平均的だが、取組満足度は高い。

5. 評価を踏まえた今後の方向性

今後の方向性

- ・施策全体の方向性として、引き続き市の歴史文化遺産の情報発信を強化していくとともに、中・長期的な観点から文化財の保存・活用のための取組を明確に規定し、計画的・継続的な推進を図ることを目的に、枚方市文化財保存活用地域計画の策定に着手する。
- ・遺構が現存する希少な河川台場跡である国史跡楠葉台場跡において、大砲モニュメントを設置し、史跡としての認知度や魅力の向上を目指す。

1. 施策の概要

施策シート【19_02】

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称		観光施策の推進			
総合計画体系		基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち		
		施策目標等	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち		
めざす姿（主観的満足度）		市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われている			
概要		観光資源の効果的な発信、地域内外の交流機会の創出を図る。			
計画期間 中の 実施予定 時期①	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	1. 観光マーケティング 2. 新たな観光情報発信拠点の整備 ○新たな観光情報発信拠点（枚方市観光案内所Syuku56）のオープン 3. 枚方宿エリアの新たな観光スポットを創出 4. まちなみや町家の保全 5. 市駅周辺再整備にあわせた天野川の活用の推進 6. 淀川舟運の充実（淀川舟運の定期運航） 7. 水辺アクティビティの展開 8. サイクルロードの中継ポート整備 9. 東部地域の活性化 10. 「癒しの郷氷室・津田～美Healthプロジェクト」の推進	1. 観光マーケティング ○民間事業者との連携による万博を契機とした観光コンテンツ実施 3. 枚方宿エリアの新たな観光スポットの創出 ○療育園跡地の拠点オープン 6. 淀川舟運の充実（淀川舟運の定期運航） ○万博を契機としたコンテンツ実施 9. 東部地域の活性化 ○新たな特産品・観光コンテンツを創出 ○複数の観光ツーリズムの実施 ○古民家活用事業開始 10. 「癒しの郷氷室・津田～美Healthプロジェクト」の推進 ○複数の観光ツーリズムの実施、特産品の創出支援・販路拡大			

施策名称		観光施策の推進			
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち			
	施策目標等	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			
めざす姿（主観的満足度）		市の観光資源が活かされ、人々の交流が盛んに行われている			
概要		観光資源の効果的な発信、地域内外の交流機会の創出を図る。			
計画期間 中の 実施予定 時期②	R6年度	R7年度		R8年度	R9年度
	1 1. 農業体験や古民家を活用した観光ビジネスの支援 1 2. 地域資源を活かした観光コンテンツの創出及びツーリズム化 1 3. 市内大学生や留学生とともに体験型コンテンツの創出とプロモーションを推進 1 4. ひらかた万博共創プラットフォームによる共創の促進 ○コミュニケーションツールの導入・運用 1 5. 地域資源を活かしたパビリオン事業の実施 1 6. 「空飛ぶクルマ」の発着場整備 1 7. 大阪・関西万博への子どもたちの複数回無料招待 ○予約受付 1 8. 大阪・関西万博における自治体参加催事出展 1 9. 枚方フェスティバル協議会の支援 2 0. にぎわい空間の創出	1 1. 農業体験や古民家を活用した観光ビジネスの支援 ○古民家活用事業開始 1 4. ひらかた万博共創プラットフォームによる共創の促進 ○共創による、特産品や新たなビジネスの創出 1 5. 地域資源を活かしたパビリオン事業の実施 ○ひらかた万博PRイベントの開催 1 7. 大阪・関西万博への子どもたちの複数回無料招待 ○子ども夢基金を活用した大阪・関西万博への無料招待を実施 1 8. 大阪・関西万博における自治体参加催事出展 2 0. にぎわい空間の創出 ○新たなにぎわい空間創出事業の具体化			

2. 市民満足度、取り組み実績および施策指標の分析

市民満足度の分析

【満足度19.1%】

- ・年代別では、20歳台が最も高く、30.4%である。最も低いのは、70歳台で15.0%であった。
- ・昨年度と比較すると全体では、11.2ポイント減少したものの、子育て世代（25～44歳）では、4.5ポイントの減少にとどまっている。

取り組み実績および施策指標の分析

【取り組み実績】

- ・施策の進捗としては、おおむね達成できている。
- ・「11. 農業体験や古民家を活用した観光ビジネスの支援」は、古民家再生協会との協議が事業を進める上での課題である。

【施策指標】

- ・「観光消費推計額」、「新たな観光情報発信拠点利用者数」、「舟運イベント乗船客数」、「淀川河川敷枚方エリアの活性化（全体）」、「枚方まつりの来場者数」については未達成だが、目標達成に向け推進している。

3. 具体的な取り組みの進捗と施策指標の実績

施策シート[19_02]－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

1. 観光マーケティング

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
観光マーケティングの観点から、本市の魅力向上及び様々な情報発信を実施（観光情報の継続的な発信・案内、観光コンテンツの開発、観光データ調査分析）	- 観光データ分析に基づくターゲット設定 - 民間事業者との連携による万博を見据えた観光コンテンツの開発 - 万博を契機とした各種プロモーション事業との連携	- 民間事業者との連携による万博を契機とした観光コンテンツ実施 - プロモーション事業との連携	万博を契機に開発された観光コンテンツのさらなる展開	万博後の取り組みの効果検証と観光コンテンツのさらなる展開	観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
万博を契機に造成したツアーのプロモーションを展開するとともに、引き続き民間活力を生かしたツアーの造成・販売を実現していく。	大阪観光局やDMO等と連携し、観光データ分析に基づくターゲット設定とともに、4つのツアー及び6つのモデルコースを造成しプロモーションを行った。	- 大阪観光局と連携することで、前年度造成したツアー及びモデルコースを継続するとともに、休止していた東部地域の野菜収穫ツアーについては、東部農業コンテンツをオプション追加するなどニューアルを行った。 - また、大阪観光局の宿泊税活用事業により、百済寺跡を活用した新規のツアー造成やPRを行った。 - 万博来訪者等をターゲットとしたグーグル広告や海外OTA等によるプロモーションを行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

2. 具体的な取り組みの進捗と施策指標の実績

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
観光消費推計額	観光消費単価×一週間あたり平均滞在者数	602,862	678,080	753,297	828,515	千円	観光交流課	1. 観光マーケティング
各年度の実績		533,784	642,145			千円	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和5年度から増加したものの、目標値の約88%に留まった。								
【施策指標の分析 R7】 令和6年度から増加したものの、目標値の約94%に留まった。								

施策名称	観光施策の推進
------	---------

2. 新たな観光情報発信拠点の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
令和6年前期にオープンする新たな観光情報発信拠点	・枚方市観光案内所 Syuku56のオープン、運営（委託） ・デジタル技術を活用した観光情報の発信	継続	継続	継続	観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
市全体の観光情報発信拠点として運営を行っていく。	・開業及び運営委託を行い、9月6日にオープンした。 ・くらわんかツーリズムや枚方宿のまち歩き、その他観光情報など計8本の動画をデジタルサイネージを活用し観光情報の発信を行った。	・引き続き、委託により運営を行った。 ・デジタルサイネージやデジタルマップを活用した観光情報の発信を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
新たな観光情報発信拠点利用者数	デジタルサイネージ等を活用した令和6年前期にオープンする新たな枚方市観光案内所「Syuku56」の利用者数	30,000	72,000	73,000	74,000	人	観光交流課	2. 新たな観光情報発信拠点の整備
各年度の実績		67,267	59,693			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 2倍以上の目標値を達成した。								
【施策指標の分析 R7】 利用者は月平均5,000人で推移しており、目標値には到達しなかった。								

施策名称	観光施策の推進
------	---------

3. 枚方宿エリアに新たな観光スポットを創出

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
幼児療育園跡地を活用し枚方宿地域の賑わい創出の拠点となるよう整備を推進する。西見附付近において、観光客誘致に向けた環境づくりの検討を行う。	・解体 ・検討（観光バス発着所の検討、枚方宿地区の案内板の設置、御宿場印帳、鍵屋活用の検討）	・療育園跡地の建築・オープン ・西見附付近の環境の充実	・暫定活用の際の土地使用におけるルールの策定 ・広場活用に向けた宅地造成工事 ・本活用にに向けたヒアリングの実施	・広場の供用開始 ・本活用にに向けたヒアリングの実施	観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
幼児療育園跡地活用については、応募がなかったことを受け、暫定活用期間を設け、機運醸成を図っていく。	・建物解体は完了した。事業者公募に応募がなかったことを受け、観光バスの駐車も含めた広場としての暫定活用を行っていくことを決定した。 ・枚方宿エリアの看板更新により船着場までの動線明示を行うとともに、事業者による御宿場印帳販売に向けた調整や、鍵屋における体験コンテンツの磨き上げを行った。	療育園跡地の暫定活用に向けて、造成工事設計を行った。暫定活用時の運用方法などについて検討した。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

※関連指標なし

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

4. まちなみや町家の保全

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①町家バンクを運営するまち協への支援。 (周知方法の検討) ②住宅まちづくり課と連携し景観補助制度の支援。 ③古民家再生協会との連携協定における活動の推進。 ④療育園跡地の活用において、景観形成のシンボリックな建物を創出。	まちづくり協議会等との連携による取り組みの推進	継続	継続	継続	観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
まちなみや町家の保全を実現する方法について引き続き検討する。	まちづくり協議会への支援を実施するとともに、まちなみや町家の保全を実現する方法について、庁内協議を行った。	まちづくり協議会への支援を実施した。			
年度ごとの達成状況	○	◎			

※関連指標なし

施策名称	観光施策の推進
------	---------

5. 市駅周辺再整備にあわせた天野川の活用の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
③街区のまちびらきにあわせた隣接区間の景観整備及び、左岸の高水敷の活用などについて河川管理者等と協議・調整など、ウォカブルなまちづくりの実現に向けた取り組み	・③街区隣接区間の景観整備 ・ウォカブルに資する水辺空間の活用に向けて河川管理者等との協議調整	・ウォカブルに資する水辺空間の活用に向けて河川管理者等との協議調整 ・ワークショップの開催	・ワークショップの開催 ・ワークショップでの提案内容の実現に向けた具体策の調査等	・ワークショップの開催 ・天野川活用に向けた計画素案の作成	市駅周辺まち活性化部
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
庁内関係部署及び河川管理者（大阪府）等と継続した協議・調整が必要である。今後、大阪府等とのワークショップなどに取り組む。	・5月末に③街区隣接区間の景観整備を完了した。 ・河川管理者等と天野川のまちづくりへの活用等について意見交換を行った。	・河川管理者等と天野川のまちづくりへの活用等について意見交換を行った。 ・河川管理者や地元団体、周辺事業者等を含むワークショップを開催し、天野川の課題や魅力について意見交換を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
多様な組織・団体によるワークショップの回数（累積）	地元・地域団体等の多様な組織・団体と天野川の活用に向けて意見交換を行うワークショップの開催数	-	-	5	6	回	市駅周辺まち活性化部	5. 市駅周辺再整備にあわせた天野川の活用の推進
各年度の実績		-	2			回	備考	
【施策指標の分析 R6】 —								
【施策指標の分析 R7】 天野川の活用に向けたワークショップを目標通り2回開催した。								
天野川の活用に向けた取組と連携したイベントの実施回数（累積）	天野川の活用に向けた取組と連携して、事業者や地域団体などが天野川周辺で実施するイベントの数	-	-	2	4	回	市駅周辺まち活性化部	5. 市駅周辺再整備にあわせた天野川の活用の推進
各年度の実績		-	1			回	備考	
【施策指標の分析 R6】 —								
【施策指標の分析 R7】 天野川の活用に向けたワークショップの参加者が主催するイベントに参加した。								

施策名称	観光施策の推進
------	---------

6. 淀川舟運の充実（淀川舟運の定期運航）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①淀川舟運整備推進協議会要望を経た舟運航路の確保。 ②淀川舟運活性化協議会での議論を踏まえた連携の推進	・船着き場への案内サイン ・国、府、民間事業者との連携による万博を契機としたコンテンツ開発や充実	・国、府、民間事業者との連携による万博を契機としたコンテンツ実施	・航路確保に向けた国への要望活動 ・利用者拡大に向けたPR	取り組みの継続	観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
引き続き、航路確保や民間事業者による事業化を進めていく必要があり、要望活動や各関係者との連携に取り組む。	・看板更新により船着場までの動線明示を新たに6カ所で行った。 ・万博を契機としたコンテンツ開発について事業者と協議を行った。	引き続き、要望活動を実施したほか、舟運を活用したコンテンツ開発に連携・協力した。			
年度ごとの達成状況	○	○			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
舟運イベント乗船客数	舟運事業者が運航する舟運イベント乗船客数	1,740	2,294	2,847	3,400	人	観光交流課	6. 淀川舟運の充実（淀川舟運の定期運航）
各年度の実績		1,876	1,882			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 民間事業者2社により舟運事業が実施された。乗船客数の規模としては、コロナ前の水準に戻り、目標達成した。								
【施策指標の分析 R7】 民間事業者2社により舟運事業が実施された。乗船客数の規模としては、コロナ前の水準となった。								

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

7. 水辺アクティビティの展開

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①ひらかた万博を意識し、国や府、沿川自治体、民間事業者との連携を更に深めアクティビティを充実。 ②かわまちづくり計画に沿った、堤防上の活用。まちへの周遊が促進される取り組みの展開。	・アクティビティコンテンツの充実 ・堤防上仮設整備・検証	堤防上仮設整備・検証	堤防上の設計 水辺アクティビティの拠点運営 スキームの検証	堤防上の整備 水辺アクティビティの拠点運営	観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
面で捉えた活性化、周遊促進の実現に向け、河川空間を利用した賑わい創出や堤防上の拠点形成に取り組む。	・アクティビティイベントを4回開催した。 ・堤防上の機能検証のための実証実験を10月に実施した。	・アクティビティや自然観察イベントを開催した。 ・堤防上の機能検証のための実証実験を10月に実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
淀川河川敷枚方エリアの活性化（全体）	目標年間利用者数（人）	550,000	575,000	600,000	625,000	人	観光交流課	7. 水辺アクティビティの展開
各年度の実績		469,995	567,620			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 猛暑が10月頃まで続いたため、利用者数が伸び悩んだ。								
【施策指標の分析 R7】 目標未達となった。昨年と同様、猛暑が続き、利用者数が伸び悩んだ。								

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

8. サイクルロードの中継ポート整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①淀川河川敷堤防上及び②幼児療育園跡地を活用したにぎわい創出に取り組む中で、機能の一つとして、サイクリストを取り込む仕掛けとしてサイクルラックの設置等を行い、まちへの周遊が促進される取り組みを展開する。	①堤防上実証	①サイクルラック等の仮設設置 ②にぎわい創出施設の建築・オープン（サイクルラック等設置）	①堤防上整備 ②継続	①拠点運営 ②継続	観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
跡地活用、堤防活用の両事業推進の中で具体化を図っていく。	堤防上の機能検証のための実証実験を実施した。	①堤防上の実証実験でサイクルラックを設置した。 ②駐輪機能を含む造成工事のために設計を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

※関連指標なし

施策名称	観光施策の推進
------	---------

9. 東部地域の活性化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①概ねJR学研都市線以東の地域に存在する豊かな自然や農地などの地域資源を活用し、一層の魅力向上や地域の活性化を図る。 ②「枚方市東部地域の活性化に向けて」（令和4年3月策定）に沿った東部地域活性化の取り組みを推進。	①ツーリズム化の実証実験 ②2025年大阪・関西万博を見据え、新たな特産品・観光コンテンツを創出するとともに、持続可能なビジネス創出による地域活性化に取り組む ・古民家活用事業に伴う支援に向けた環境整備	・新たな特産品・観光コンテンツを創出 ・複数の観光ツーリズムの実施 ・古民家活用事業開始	継続	継続	政策推進課、農業振興課、観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
地域資源を活用したコンテンツやツアーの造成・継続を目指し、引き続きステークホルダーとの連携を推進していく必要がある。	・ひらかた万博共創事業創出補助金の活用等により、東部地域の農産物を使った特産品やスタンプラリーといった観光コンテンツが創出された。また、特産品の創出に向けたローカル10000プロジェクトを活用した民間事業者の取組支援を進めた。 ・市内団体により農産物の収穫や天体観測などのツアーが複数回実施された他、東部地域の自然・農といった観光資源を巡るツアーを造成し、販売を開始した。 ・観光資源の指定基準に基づき市が事業承認を行った穂谷地区の古民家において、本市の農産物を活用する飲食店が開業した。	・大阪・関西万博への出展を契機に、東部地域の農作物を使った特産品が複数創出された。 ・市内団体により農作物の収穫体験やツアーなどが開催された他、域内の魅力スポットを巡るスタンプラリーも行われた。 ・観光資源の指定基準に基づき市が事業承認を行った穂谷地区の古民家において、新たに本市の農作物を活用する飲食店が開業した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策名称	観光施策の推進
------	---------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
東部地域の古民家を活用した観光施設の数	東部地域の古民家を活用した民間宿泊施設等の観光施設の数（延べ）	1	2	3	4	箇所	政策推進課	9. 東部地域の活性化 1 1. 農業体験や古民家を活用した観光ビジネスの支援
各年度の実績		1	2			箇所	備考	
【施策指標の分析 R6】 穂谷地区で古民家を活用した飲食等の店舗が開業した。その他においても民間事業者や地元所有者との協議や対話を実施しており、引き続き取り組みを行う。								
【施策指標の分析 R7】 昨年度に開業した飲食店は閉業したが、新たに本市の農作物を活用する飲食店が開業した。								
創出観光コンテンツ数	創出した特産品、参加・体験などの観光コンテンツの数（延べ） ※うち()内は東部地域の数	5 (2)	20 (11)	28 (15)	31 (18)	個	政策推進課	9. 東部地域の活性化 1 2. 地域資源を活かした観光コンテンツの創出及びツーリズム化
各年度の実績		17 (8)	25 (12)			個	備考	
【施策指標の分析 R6】 ひらかた万博共創事業創出補助金を活用した特産品や観光コンテンツ等が創出され、目標を上回った。								
【施策指標の分析 R7】 大阪・関西万博を契機とした新たな特産品や、ひらかた万博共創事業創出補助金を活用した観光コンテンツなどが創出され、目標を上回った。								
本市への訪日外国人旅行者数	大阪府にきた訪日外国人旅行者のうち、本市を訪問した推計人数	35,000	45,000	56,000	68,000	人	政策推進課	9. 東部地域の活性化 1 2. 地域資源を活かした観光コンテンツの創出及びツーリズム化 1 4. ひらかた万博共創プラットフォームによる共創の促進 1 5. 地域資源を活かしたパビリオン事業の実施 1 8. 大阪・関西万博における自治体参加催事出展
各年度の実績		29,300	88,020			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和 5 年における本市への訪日外国人旅行者数（19,600人）より約50%増加したが、目標値を達成しなかった。令和 7 年度については大阪・関西万博への来場者をターゲットに更なる誘客に取り組む。								
【施策指標の分析 R7】 大阪・関西万博への出展やひらかた万博によりインバウンド誘客の取り組みを進めたところ、本市への訪日外国人旅行者数は前年比約300%となり、目標を大きく上回った。								

施策名称	観光施策の推進
------	---------

10.「癒しの郷氷室・津田～美Healthプロジェクト」の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・地域・民間・大学等と連携し、地域資源の農と里山を活かしたプログラムを充実させることで、東部地域を活性化。 ・ひらかた万博共創プラットフォームにおいて、地域資源を活用した新たな産品（ひらかた万博ブランド）や地域ビジネスモデルを創出。	・地域資源を活かした観光コンテンツや特産品の創出支援 ・ツーリズム化の実証実験	・複数の観光ツーリズムの実施 ・特産品の創出支援・販路拡大	継続	継続	政策推進課、農業振興課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
各プログラムをとりまとめ、エリアとしての情報発信を強化する必要がある。年間スケジュールの見える化や各ステークホルダーとの連携等を推進していく。	・ひらかた万博共創事業創出補助金の活用等により、東部地域の農産物を使った特産品やスタンプラリーといった観光コンテンツが複数創出された。 ・市内団体が令和7年度に実施予定の実証実験（モニターツアー）について、関係者間で実施に向けた協議を行った。	・市内団体が交通事業者等と連携し、東部地域の自然・歴史スポットを周遊するサイクリングツアーが実施された。 ・大阪・関西万博への出展を契機に、東部地域の農産物を使った特産品が複数創出された。 ・穂谷地域で行う収穫体験等の情報をマップにまとめて市及びDMOにおいて情報発信を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
民間活力を活用したプロジェクトの実施数（累計）	「癒しの郷氷室・津田～美healthプロジェクト」の実施数	5	6	7	8	件	農業振興課	10.「癒しの郷氷室・津田～美Healthプロジェクト」の推進
各年度の実績		5	7			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 農業者や事業者の取り組みにより充実が図られた。（トウモロコシ収穫、さつまいもたい焼き用さつまいも収穫、キャッサバ収穫、摂南大学PBL、枚方メンマの販売）								
【施策指標の分析 R7】 農業者や事業者の取り組みにより充実が図られた。（ハーブ栽培、アロマセラピー（石鹸づくり講座））								

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

1 1. 農業体験や古民家を活用した観光ビジネスの支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
古民家を活用した農泊や農業レストラン開設に向けた環境整備	農泊等の農業に関わる古民家活用事業に伴う支援に向けた環境整備	農泊等の農業に関わる古民家活用事業開始	継続	継続	農業振興課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
古民家所有者と地域の意向を踏まえたうえで、実施可能な事業者を探す必要がある。今後も情報収集を行いながら、農泊等の実現を目指す。	候補物件を、建築時期や所有者の意向が確認できる3か所にしぼり、所有者や事業者と協議を進めたが、農泊の実施には至らず。	古民家再生協会と随時情報共有を行っているが、農泊の実施には至らず。			
年度ごとの達成状況	△	△			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
東部地域の古民家を活用した観光施設の数	東部地域の古民家を活用した民間宿泊施設等の観光施設の数（延べ）	1	2	3	4	箇所	政策推進課	9. 東部地域の活性化 1 1. 農業体験や古民家を活用した観光ビジネスの支援
各年度の実績		1	2			箇所	備考	
【施策指標の分析 R6】 穂谷地区で古民家を活用した飲食等の店舗が開業した。その他においても民間事業者や地元所有者との協議や対話を実施しており、引き続き取り組みを行う。								
【施策指標の分析 R7】 昨年度に開業した飲食店は閉業したが、新たに本市の農作物を活用する飲食店が開業した。								

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

12. 地域資源を活かした観光コンテンツの創出及びツーリズム化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ひらかた万博共創プラットフォームにおいて、地域資源を活用した新たな観光コンテンツや地域ビジネスモデルを創出。 また、インバウンド向けも含め観光客の増加を目指したツーリズムを構築。	・観光コンテンツの創出に向けた取り組み ・ツーリズム化の実証実験 ・効果的な広報PRの検証 ・外国人のニーズ調査 ・観光協会、DMO及び民間事業者との連携	観光ツーリズムの商品化及び効果的な情報発信	継続	継続	政策推進課、観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
インバウンド向けの効果的な情報発信が必要である。国内外からの誘客に向けて、地域資源を活用したツアー等について、効果的な情報発信が必要である。	ひらかた万博共創事業創出補助金を活用した観光コンテンツが2つ創出された他、大阪観光局やDMO等と連携し、インバウンドをターゲットに設定し観光データ分析に基づく4つのツアー及び6つのモデルコースを造成しプロモーションを行った。 また、ひらかた万博PRイベントにおける海外向けプロモーションを行い、海外における本市の認知度を高め、実際の誘客にも繋げることができた。	・ひらかた万博共創事業創出補助金を活用した観光コンテンツが2つ創出された。 ・ひらかた万博PRイベントにおけるインバウンド向けプロモーションを行い、イベントへの誘客に繋げることができた。 ・大阪観光局と連携することで、万博来訪者等をターゲットとしたグーグル広告や海外OTA等によるプロモーションを行った。また、大阪府の宿泊税を活用した大阪観光局の事業により、百済寺跡を活用した新規のツアー造成等を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【19_02】ー 施策指標

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
創出観光コンテンツ数	創出した特産品、参加・体験などの観光コンテンツの数（延べ） ※うち()内は東部地域の数	5（2）	20（11）	28（15）	31（18）	個	政策推進課	9．東部地域の活性化 1 2．地域資源を活かした観光コンテンツの創出及びツーリズム化
各年度の実績		17（8）	25（12）			個	備考	
【施策指標の分析 R6】 ひらかた万博共創事業創出補助金を活用した特産品や観光コンテンツ等が創出され、目標を上回った。								
【施策指標の分析 R7】 大阪・関西万博を契機とした新たな特産品や、ひらかた万博共創事業創出補助金を活用した観光コンテンツなどが創出され、目標を上回った。								
本市への訪日外国人旅行者数	大阪府に来た訪日外国人旅行者のうち、本市を訪問した推計人数	35,000	45,000	56,000	68,000	人	政策推進課	9．東部地域の活性化 1 2．地域資源を活かした観光コンテンツの創出及びツーリズム化 1 4．ひらかた万博共創プラットフォームによる共創の促進 1 5．地域資源を活かしたパビリオン事業の実施 1 8．大阪・関西万博における自治体参加催事出展
各年度の実績		29,300	88,020			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和 5 年における本市への訪日外国人旅行者数（19,600人）より約50%増加したが、目標値を達成しなかった。令和 7 年度については大阪・関西万博への来場者をターゲットに更なる誘客に取り組む。								
【施策指標の分析 R7】 大阪・関西万博への出展やひらかた万博によりインバウンド誘客の取り組みを進めたところ、本市への訪日外国人旅行者数は前年比約300%となり、目標を大きく上回った。								

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

13. 市内大学生や留学生とともに体験型コンテンツの創出とプロモーションを推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
留学生等と連携したコンテンツ開発、ツーリズム調査、文化観光協会によるコンテンツ磨きあげへの支援	・留学生等と連携した随時コンテンツの磨きあげ ・ツーリズムの実証 ・文化観光協会によるコンテンツ磨きあげへの取り組み支援	継続	継続	継続	観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
引き続き、民間活力による地域資源を活用したツアー造成、コンテンツ造成をバックアップしていく。	・文化観光協会と関西大学の学生が連携し、スタンプラリーを実施した。 ・大阪観光局等と連携しツアーを造成した。 ・文化観光協会等と連携し大阪DCキャンペーンに向けたコンテンツの磨き上げを支援した。	市の観光資源である七夕伝説及び「ひらかた七夕まつり」について、市内大学生留学生によるSNSでのPRを行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

※関連指標なし

施策名称	観光施策の推進
------	---------

14. ひらかた万博共創プラットフォームによる共創の促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ひらかた万博共創プラットフォームにおいて、地域資源を活用した新たな産品（ひらかた万博ブランド）や地域ビジネスモデルを創出。	・マッチング促進に向けた会議運営 ・実効性の高いプロジェクト化の検討（必要に応じ部会設置） ・ひらかた万博共創事業創出補助制度の運用 ・共創を支援するコミュニケーションツールの導入・運用	・共創による、特産品や新たなビジネスの創出 ・ひらかた万博共創事業創出補助制度の運用 ・共創を支援するコミュニケーションツールの運用 ・継続した取り組みの検討	—	—	政策推進課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
引き続き、多様な主体による地域資源を活用したコンテンツの創出を促進する必要がある。	・事業者同士のマッチングを促進するため、ひらかた万博共創プラットフォーム会議を開催するとともに、共創の取組を促進するためのコミュニケーションツール（ビズフェス）を導入した。 ・共創プラットフォームの参加団体を中心に、令和7年度の東部地域におけるツアー造成に向けた検討体制が構築され、市として協力、支援を行っている。 ・ひらかた万博共創事業創出補助制度を活用し、特産品3つと2つの観光コンテンツが創出された。	・大阪・関西万博への出展を契機にひらかた万博共創プラットフォーム内の事業者間の共創により、市内の農作物を使った特産品が複数創出された。 ・ひらかた万博共創事業創出補助制度を活用し、2つの観光コンテンツが創出された。 ・令和6年度より導入しているビズフェスを活用し、行政からの情報共有などを継続的に実施した。 ・ひらかた万博共創プラットフォームの機能を継承する新たなプラットフォームについて、令和8年度の構築に向け検討を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【19_02】ー 施策指標

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称		観光施策の推進						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
本市への訪日外国人旅行者数	大阪府にきた訪日外国人旅行者のうち、本市を訪問した推計人数	35,000	45,000	56,000	68,000	人	政策推進課	9. 東部地域の活性化 1 2. 地域資源を活かした観光コンテンツの創出及びツーリズム化 1 4. ひらかた万博共創プラットフォームによる共創の促進 1 5. 地域資源を活かしたパビリオン事業の実施 1 8. 大阪・関西万博における自治体参加催事出展
各年度の実績		29,300	88,020			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和 5 年における本市への訪日外国人旅行者数（19,600人）より約50%増加したが、目標値を達成しなかった。令和 7 年度については大阪・関西万博への来場者をターゲットに更なる誘客に取り組む。								
【施策指標の分析 R7】 大阪・関西万博への出展やひらかた万博によりインバウンド誘客の取り組みを進めたところ、本市への訪日外国人旅行者数は前年比約300%となり、目標を大きく上回った。								
共創により生まれた特産品の数	共創により新たに創出された特産品の延べ個数	3	5	12	14	個	政策推進課	1 4. ひらかた万博共創プラットフォームによる共創の促進
各年度の実績		4	10			個	備考	
【施策指標の分析 R6】 共創の取り組みにより、4つの特産品が生まれた。令和6年度は目標値を達成したが、令和7年度も引き続き目標達成に向け、取り組みを促進する。								
【施策指標の分析 R7】 大阪・関西万博への出展に向けたひらかた万博共創プラットフォーム内での共創等により、昨年度の個数を超える特産品が創出された。								

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

15. 地域資源を活かしたパビリオン事業の実施

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
枚方市全体をパビリオンに見立て、市民、企業、事業者、市民団体、大学等、多様な主体と連携し、枚方の魅力向上につながる地域資源を活用した観光事業やイベント等を市内の様々な場所で実施。	・パビリオン事業の参加・参画促進 ・市内外への効果的なPR及び検証	・ひらかた万博PRイベントの開催及びそのプロモーションを実施 ・パビリオン事業の情報発信を強化	—	—	政策推進課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
引き続き、多様な主体と連携し、枚方の地域資源を活用したパビリオン事業を市内の様々な場所で実施する。 また、パビリオン事業のパッケージ化など、効果的に情報発信を行い、誘客を図る。	多様な主体と連携し、92のパビリオン事業を実施した。あわせて、ひらかた万博公式インスタグラムを立ち上げ、情報発信を行った。	多様な主体と連携し市内各地でパビリオン事業を実施するとともに、パビリオン事業の「パッケージ化」による効果的な情報発信を推進した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【19_02】— 施策指標

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
本市への訪日外国人旅行者数	大阪府にきた訪日外国人旅行者のうち、本市を訪問した推計人数	35,000	45,000	56,000	68,000	人	政策推進課	9. 東部地域の活性化 1 2. 地域資源を活かした観光コンテンツの創出及びツーリズム化 1 4. ひらかた万博共創プラットフォームによる共創の促進 1 5. 地域資源を活かしたパビリオン事業の実施 1 8. 大阪・関西万博における自治体参加催事出展
各年度の実績		29,300	88,020			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和 5 年における本市への訪日外国人旅行者数（19,600人）より約50%増加したが、目標値を達成しなかった。令和 7 年度については大阪・関西万博への来場者をターゲットに更なる誘客に取り組む。								
【施策指標の分析 R7】 大阪・関西万博への出展やひらかた万博によりインバウンド誘客の取り組みを進めたところ、本市への訪日外国人旅行者数は前年比約300%となり、目標を大きく上回った。								
誘客につながる参加体験イベント数	ひらかた万博の取組において地域資源を活かして開催された参加・体験イベント等の数	55	60	—	—	事業	政策推進課	1 5. 地域資源を活かしたパビリオン事業の実施
各年度の実績		92	92			事業	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和6年度は55の目標に対し、92ものイベントを実施することで目標を達成することができた。令和7年度も引き続き、事業数を増やすとともに、テーマごとに効果的に情報発信することで、市への誘客を図る。								
【施策指標の分析 R7】 令和 7 年度は83のイベントを実施し、本市へのさらなる誘客とまちへの愛着醸成につながった。また、団体間での交流が生まれるなど、本市の活性化に寄与する様々な効果が生まれた。								

施策名称	観光施策の推進
------	---------

16. 「空飛ぶクルマ」の発着場整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・共創推進プラットフォームにて市内での離発着に向けた調査・検証 ・空飛ぶクルマの社会受容性の向上	・市内離発着場所の整備を見据えた空飛ぶクルマの考え方の整理 ・空飛ぶクルマ体験型イベント実施	継続	・国や府の動向等の情報収集 ・運航・機体製造・離着陸場整備事業者等の関連企業との関係構築 ・イベント出展や学校との連携による社会受容性向上 ・市内での事業を検討する民間企業への各種支援	継続	政策推進課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
・法整備や機体の開発が遅れているが、国や府の動きに注視し、情報収集を行うとともに、社会受容性の向上を目指した取組が必要である。	・国や府による勉強会等で情報収集を行った。 ・ひらかた万博PRイベントをはじめとした計4回のイベントでVR体験等を実施し、空飛ぶクルマに関する市民アンケートを実施した。	・国や府による勉強会等で情報収集を行った。 ・中学、高校、大学のPBLを通じて、社会受容性の向上に取り組んだ ・民間企業と市内におけるVポートの具体的な候補地についての対話や、河川公園での実証実験に協力した。			
年度ごとの達成状況	○	○			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
空飛ぶクルマビジネス共創部会の事業数	空飛ぶクルマビジネス共創部会（効果検証、可能性検証、社会受容性向上グループ）で取り組む事業数（延べ）	3	6	8	9	件	政策推進課	16. 「空飛ぶクルマ」の発着場整備
各年度の実績		5	8			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 市主催・共催のイベントや、市内大学の学園祭、万博の機運醸成に向けたイベント等に出展し社会受容性向上に寄与した。また大阪工業大学の学生が空飛ぶクルマを活用したユースケースやビジネスモデルの検討を進めた。								
【施策指標の分析 R7】 大阪・関西万博開催の年でもあり、少しずつではあるが、企業から声をかけていただける機会も増え、具体的な話をする事ができた。								

施策名称	観光施策の推進
------	---------

17. 大阪・関西万博への子どもたちの複数回無料招待

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
大阪府が実施する大阪・関西万博会場への無料招待に加え、申請日に枚方市に住所を有する満4～17歳（令和7年4月1日時点）の子どもを対象として、無料招待を実施することで、次代を担う子ども達が将来に向けて夢や希望を育む機会を支援。	子ども夢基金を活用した大阪・関西万博への無料招待の実施に向けた予約受付	・子ども夢基金を活用した大阪・関西万博への無料招待の実施に向けた予約受付 ・子ども夢基金を活用した大阪・関西万博への無料招待を実施	—	—	政策推進課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
- 引き続き市民に対しての情報発信を強化し、事業の周知を行う必要がある。 - 引き続き、交付処理を申請から概ね6営業日以内に行っていく必要がある。	- 無料招待を実施するため、要綱等を制定し、府が指定する事業者配付対象者の要件審査、コールセンターの運営、WEBサイト運営等の周知・啓発を委託し、無料招待のチケットIDを配付した。 - 市HP、市公式SNS、デジタルサイネージ等で事業の周知を行った。	- 広報誌、市公式SNS等で事業の周知を行った。 - チケットIDに係る交付処理を適切に行った			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

※関連指標なし

施策名称	観光施策の推進
------	---------

18. 大阪・関西万博における自治体参加催事出展

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
大阪・関西万博会場において、本市の歴史文化や地域資源などの魅力を発信し、本市に誘客することを目的に、府内自治体に参加する催事「大阪ウィーク」や万博首長連合会員自治体が共創する催事「Resolution of LOCAL JAPAN展」に出展。	・大阪ウィークの出展準備 ・Resolution of LOCAL JAPAN展の出展準備	・大阪ウィークの出展 ・Resolution of LOCAL JAPAN展の準備、出展	—	—	政策推進課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
出展に向けた具体的な調整に向けて、博覧会協会、万博推進局、出展事業者等との各種調整を進める。 また、出展と連動して、本市域で企業団地見学ツアー等によるビジネスマッチングの機会を創出していく。	<出展内容> ●大阪ウィーク ①関西医科大学が取り組む最先端の医学研究の展示や医療技術の体験 ②市PR大使のたけうちひろさんが監修する子ども向け体験型ワークショップと制作物展示 ③スターダスト河内等による交野節・万博官頭の披露 ④市内企業によるオープンファクトリー ⑤市内の特産品、銘菓、郷土料理等の試食・体験 ⑥市内中学校合同メンバーによる吹奏楽演奏 ●LOCAL JAPAN展 - 神奈川県箱根町、静岡県三島市、大阪府和泉市とともに、宿場や旧街道、浮世絵といった江戸時代の文化を軸としたブースで、淀川舟運や枚方宿等の情報を発信。	予定していた7つの大阪ウィーク出展及びLOCAL JAPAN展について、すべて滞りなく実施できた。 また、大阪・関西万博を契機につながりの生まれた海外との交流について、インドネシア及びオーストラリア・クイーンズランド州とのビジネスマッチングの機会を創出した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【19_02】－ 施策指標

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称		観光施策の推進						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
本市への訪日外国人旅行者数	大阪府にきた訪日外国人旅行者のうち、本市を訪問した推計人数	35,000	45,000	56,000	68,000	人	政策推進課	9. 東部地域の活性化 1 2. 地域資源を活かした観光コンテンツの創出及びツーリズム化 1 4. ひらかた万博共創プラットフォームによる共創の促進 1 5. 地域資源を活かしたパビリオン事業の実施 1 8. 大阪・関西万博における自治体参加催事出展
各年度の実績		29,300	88,020			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和 5 年における本市への訪日外国人旅行者数（19,600人）より約50%増加したが、目標値を達成しなかった。令和 7 年度については大阪・関西万博への来場者をターゲットに更なる誘客に取り組む。								
【施策指標の分析 R7】 大阪・関西万博への出展やひらかた万博によりインバウンド誘客の取り組みを進めたところ、本市への訪日外国人旅行者数は前年比約300%となり、目標を大きく上回った。								

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

19. 枚方フェスティバル協議会の支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
枚方まつりの実施及び各イベントを支援する枚方フェスティバル協議会に対し補助金を交付し、各イベントを支援。	・開催時期の検証 ・イベント内容の検証・充実	イベント内容の検証・充実	継続	継続	観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
今後も引き続き適正な運営のあり方について同協議会において協議を行っていく	・初となる秋開催に向け調整、支援を実施した。 ・協議会の取り組みに対する支援の充実を行った。	・枚方まつりの開催に向け調整、支援を実施した。 ・協議会の取り組みに対する支援を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
枚方まつりの来場者数	枚方まつりの来場者数	103,000	106,000	109,000	112,000	人	観光交流課	19. 枚方フェスティバル協議会の支援
各年度の実績		70,000	80,000			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 初の秋開催となり、夏季開催に比べ他行事と重複したことなどから来場者数が伸び悩んだ。								
【施策指標の分析 R7】 2日間とも雨模様での開催となり集客伸び悩んだが、新たに枚方まつりのポスター周知に取り組むなどの効果で前年度を上回る集客があった。								

施策名称	観光施策の推進
------	---------

20. にぎわい空間の創出

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ニッパーク等で開催されるイベント支援、河川空間におけるにぎわいづくり	・課題整理/検証 ・事業者が活用しやすい仕組みづくりへの検討	新たな仕組みによる事業の具体化	継続	継続	観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
民間主体による賑わい創出に向け、支援内容の充実を図っていく。	23件のイベント実施を支援するとともに、実施者アンケートを行い、活用しやすい仕組みづくりの検討を行った。	31件のイベント実施を支援するとともに、公園管理者と協議し、支援要件や安全管理を徹底するための変更などを行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
にぎわい空間創出事業来場者数	ニッパーク岡東中央等において、市民団体などが開催する各種イベントが効果的に行われるように、会場及び備品の貸し出し、広報などの支援を行う「にぎわい空間創出事業」における来場者数	12,824	34,317	34,317	34,317	人	観光交流課	20. にぎわい空間の創出
各年度の実績		50,670	41,252			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 実施イベント数の増加により来場者数も増加した。								
【施策指標の分析 R7】 イベント毎の集客規模にばらつきがあり、昨年度を下回ったが、ほぼ目標値との数値となった。								

4. 取組満足度と関心・期待度・ニーズの4象限マトリクス分析

観光資源が生かされている
19_02 観光施策の推進

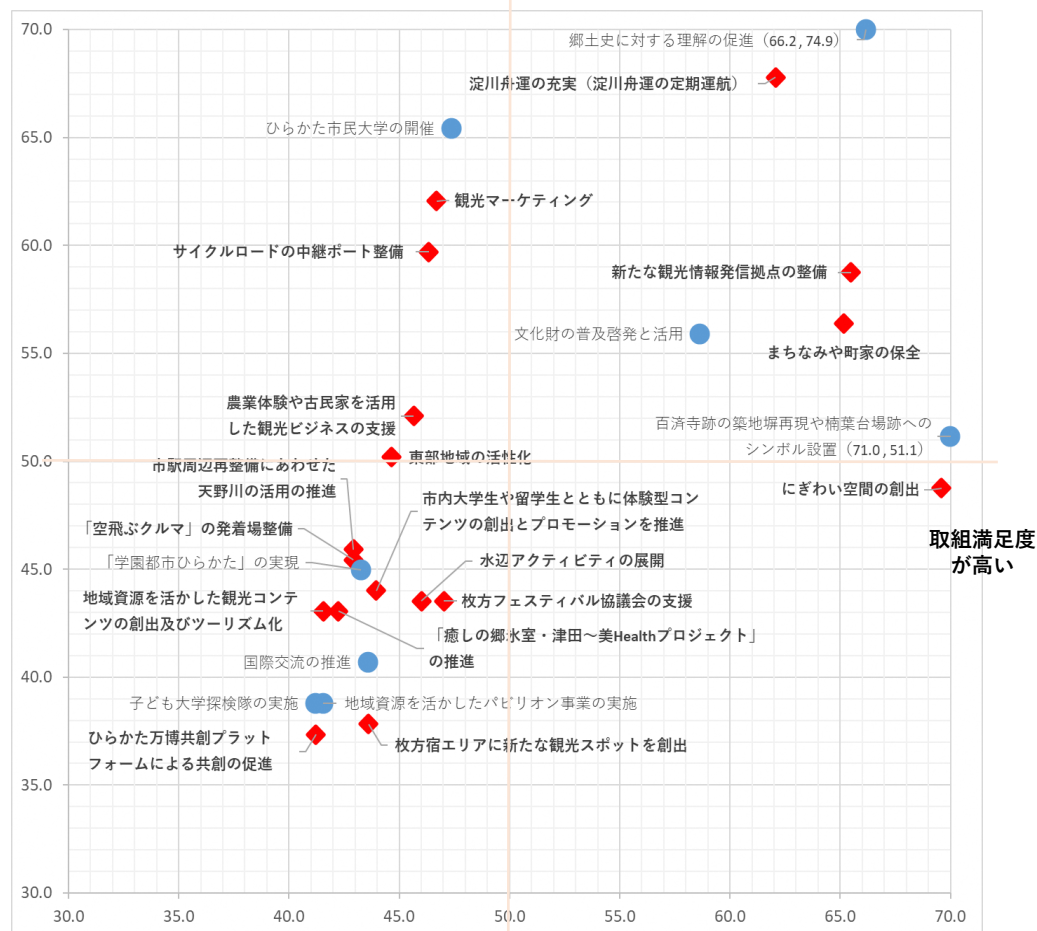
施策満足度		
満足	不満足	どちらとも いえない わからない
19.1%	26.6%	54.3%
「決め手となった取り組みはない」と 回答した人		
32.1%		

※回答数／全体数1,762

※満足の定義は、「感じている」「やや感じている」を選択した人
不満足の定義は、「あまり感じていない」「感じていない」を選択した人

※各施策における取組満足度や関心・期待・ニーズを分析するものであり、異なる施策間での比較を行うものではありません。

関心・期待度・ニーズが高い



目指すべき姿
(施策満足度)『観光資源が生かされている』に紐づく全取り組み⇒青丸●

上記のうち施策シート『19_02 観光施策の推進』に紐づく取り組み⇒赤ダイヤ◆

施策の分析

- ・「2. 新たな観光情報発信拠点の整備」、「4. まちなみや町家の保全」、「6. 淀川舟運の充実 (淀川舟運の定期運航)」の関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに高い。「20. にぎわい空間の創出」の関心・期待度・ニーズは平均的だが、取組満足度は高い。
- ・「1. 観光マーケティング」、「8. サイクルロードの中継ポート整備」は関心・期待度・ニーズは高いが、取組満足度は平均的である。
- ・「11. 農業体験や古民家を活用した観光ビジネスの支援」は関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに平均的である。
- ・「5. 市駅周辺再整備にあわせた天野川の活用の推進」、「9. 東部地域の活性化」、「16. 「空飛ぶクルマ」の発着場整備」の関心・期待度・ニーズは平均的で取組満足度は低い。
- ・「7. 水辺アクティビティの展開」、「19. 枚方フェスティバル協議会の支援」の関心・期待度・ニーズは低く、取組満足度は平均的である。
- ・「3. 枚方宿エリアに新たな観光スポットを創出」、「10. 「癒しの郷水室・津田〜美Healthプロジェクト」の推進」、「12. 地域資源を活かした観光コンテンツの創出及びツーリズム化」、「13. 市内大学生や留学生とともに体験型コンテンツの創出とプロモーションを推進」、「14. ひらかた万博共創プラットフォームによる共創の促進」の関心・期待度・ニーズと取組満足度は低い。

5. 評価を踏まえた今後の方向性

今後の方向性

- ・施策全体の方向性として、本市が広く選ばれるまちとなるため、観光資源の効果的な発信による地域内外の交流機会の創出を図っていく。
- ・地域資源である天野川について、地域、事業者などの多様な主体と連携し、交流や回遊性の向上に資する活用の検討を進める。
- ・観光施策の推進については、マーケティングの観点からデータ調査分析を行うとともに、観光関連団体と連携し、コンテンツ造成やプロモーションに取り組み、地域経済の活性化を推進する。
- ・東部地域の活性化に向け、地域、事業者など多様な主体と連携し、多くの人が同地域を訪れ、その魅力を感じてもらえるよう、新鮮な野菜の収穫体験をはじめとする里山と農を生かした取り組みなど東部地域の資源を活用するとともに、地域の魅力の発信をさらに強化していく。

6. 施策評価員による評価【外部評価】

施策評価員による評価

- ・観光施策の「選択と集中」による取り組みの見直しも検討すべきではないか。
- ・万博開催年にもかかわらず満足度が低下した点を重く受け止め、取り組み数の多さが成果の分散を招いていないか検証するとともに、市民評価の高い観光資源への重点化を検討すべきではないか。
- ・イベント通知がタイムリーにできていない。市民が関心を寄せ、満足度の高い取り組みを最優先に実施すべきではないか。
- ・満足度が平均より低い取り組みが全体の80%を占める現状では、継続か見直しかの判断を早急に行う必要があるのではないか。観光資源の効果的な発信は地域経済に直結するため、引き続き取り組み自体は進めてもらいたい。
- ・観光振興策が局所的な効果にとどまっており、シティプライドやシティセールスにつながっていない。一つ一つの事業の評価と、それらの相乗効果を合わせた施策の評価について、精査する必要があるのではないか。